

新会長のご挨拶：湊 勝比古「より親しんでいただける土木会」を目指して

土木会会員の皆様方には、お元気でご活躍のことと存じます。日頃から土木会活動にご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。



私は、平成 17 年 6 月 30 日（木）の土木会総会において会長に選出されました 41 年卒の湊勝比古でございます。三田村、宮本会長時より、副会長として土木会の運営に微力ながら携わらせていただき、今回の就任となりました。新しい役員・評議員をはじめ、会員の皆様のご協力を得て、会の活動を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご支援、ご協力をお願いいたします。

■大学創立 125 周年と独法化

大阪市立大学も平成 17 年に、創立（明治 13 年）125 周年を迎えました。また、最近、大学を取り巻く状況が大きく変化しています。皆様もご存知のとおり、すべての国立大学が平成 16 年 4 月から独立法人化

され、わが大阪市立大学も平成 18 年 4 月から独立法人化されました。この独立法人化により、大学の自由度は増すこととなりますが、その代わりに自己責任は大きくなってまいります。それに伴って市大独自の長を發揮すると共に、これまで以上に社会との関係を重視し、自立の道を探り、大学間競争に生き残っていかなくてはなりません。

さて、わが国の経済状況も世間一般の景気は着実に改善しつつあるように言われています。しかし、一方で、公共投資は依然として減少が続き、特に地方経済の停滞は顕著であり、まだまだ景気の先行きは見通しの定まらない状況にあるように思います。そんな経済情勢の中で、我々土木技術者を取り巻く情勢はますます厳しくなっているように思います。このような厳しい情勢の下では同窓会の役割はますます重要となり、大学と同窓会の関係もこれまでに以上に密にしていくべき時がきたのではないかと考えております。

■同窓会を通じた多様な交流を！

同窓会の役割としては、同窓生同士の交流、同窓生と現役の学生との

交流の 2 点が大切であると考えております。それらの仲介役が土木会であり、これまで会報や名簿の発行、講演会の開催、現役学生の先輩職場訪問、ホームページでの情報伝達等の活動を行ってまいりました。今後も、基本的にはこれまでの方針で活動をして参りますが、特に考えていかなければならない事項もあります。

役員一同、会員に「より親しんでいただける土木会」を目指し、土木会の発展、活性化に向けてお役に立つよう頑張っております。皆様方の暖かいご支援・ご協力をお願いいたします。

（上記内容は、土木会通信に簡略化したものです。詳細版についてはホームページ上に掲載の原稿をご覧ください）

募集：土木会創立 50 周年記念事業企画

本会は昭和 31 年の創立以来、50 周年を迎えます。今後役員会を中心に記念事業についての企画を検討する予定です。皆様方からの妙案をお待ちしております。

大学の近況：主任教授 東田 淳 新生「都市基盤工学科」

卒業生各位には益々ご活躍のことと存じます。本学科は、昨年度学科名を土木工学科から都市基盤工学科に変更し、自立した Civil Engineer を育てるという教育目標を掲げて新たなスタートをきりました。以下、新生「都市基盤工学科」の近況を紹介します。



及び河海工学

■教員人事

つぎに教員の異動ですが、本年 3 月には環境都市工学科都市リサイクル工学分野の山田優教授が定年退職され、4 月には大阪市立大学名誉教授の称号を受けられました。40 年にわたる長年の教育研究活動を通じて多くの卒業生を世に送りだされ、大変ご苦労様でした。同じく 3 月には土木材料及び河海工学分野の麓隆行助手が近畿大学に転出されました。今後のご活躍を期待しています。また 3 月には応用構造工学分野の山口隆司助教授が 1 年間の英国サリー大学留学から戻られ、留学の成果が期待されます。本年 4 月には大内一先生が構造及びコンクリート工学分野の教授として着任されました。これまで民間（大林組技術研究所）で培われてきた経験を教育研究に活かしてご活躍頂けるものと確信しております。

す。副学長として活躍中の建設材料及び河海工学分野の角野昇八教授は本年 4 月から専任理事・副学長となられ、公立大学法人の運営に鋭意取り組んでおられます。これまでの副学長兼任ではなくて、専任となられたため、小田一紀名誉教授に非常勤特任教員をお願いし、河海分野の授業を担当して頂いています。

■就職状況は本業回帰！？

学生の進路希望については、学部生 32 名中進学が 16 名と相変わらず多く、公務員が 6 名、建設が 5 名、コンサルタント 1 名、鉄道が 2 名、その他が 2 名となっています。また修士は 16 名中、公務員が 3 名、建設が 5 名、コンサルタント 3 名、メーカーが 1 名、鉄道が 3 名、その他が 1 名となっています。昨年に比べて本業回帰の傾向が出ています。卒業生の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

■分野（研究室）名の変更

まず、学科名の変更に伴って本年 4 月に地盤工学分野を除く分野（研究室）の名称が以下のように変更されました。

- ・構造工学→構造及びコンクリート工学
- ・橋梁工学→応用構造工学
- ・土木計画学→都市基盤計画
- ・土木材料及び河海工学→建設材料